

海外婦人勞働資料第四號

工業に働く婦人のための安全な服裝

(代 謄 寫)

勞働省婦人少年局

工業に働く婦人のための安全な服装

本文は一九四一年アメリカ合衆国労働省婦人局が発行した婦人局特報第三號「工業に働く婦人のための安全な服装」から譯出したものである。

戦後、我國では被服資材が極度に缺乏してゐるので、こゝに譯出したものを、そのまゝ活用して、婦人の安全作業衣とすることは困難であるが、婦人の労働と、安全作業衣との關係で示唆をうける點が尠くないので、参考のため掲載する。

(労働省婦人少年局)

要 項

- 一、服装のよくととのつた労働婦人は安全な労働者である。
- 二、職務に適した服装は災害よけの役に立つ。
- 三、第一に足に氣をくばること。
- 四、ちり除け眼鏡をかけること、眼はかけがえない。
- 五、動いている機械のそばでは作業帽をかぶること。
- 六、作業衣は、安全のためには作業にあわさねばならない。
- 七、手袋^{ミット}いで皮膚の炎症その他の危害がふせげる。
- 八、寶石類は工場には用はない。
- 九、特殊の危険をともなう作業には特殊な作業衣が要る。

服装のよくと、のつた労働 婦人は安全な労働者である

安全作業着は、その利用價值だけでなく魅力の點からも工夫すべきものである。今では、災害がおこり得ないようにな身仕度をとつて、活動するところが流行となつてきた。鏡をこわして不運をまねいて、と鏡の運搬をおそれていた少女も、災害には避けられるような、はつきりとした原因があるといふことを、いまでは知つてゐる。

職務に適した服装は災害よ けの役に立つ

安全委員會は安全作業衣の重要なことを切にみとめるようになつた結果、工業に働く婦人のために、とくに工夫した作業衣の流行衣裳行列をそのプログラムにふくめてゐる。

デザイナーは第一に安全、つぎに便利、實際着られるかどうか、着心地、清潔および涼味などを考慮にいれてい

る。魅力ということにも適度の考慮がはられてゐる。

作業衣の材料をえらぶときは、輕くのりをつけた織物の方がのりをつけぬ織物よりも火氣にたいする抵抗力がある、といわれている。また、人造絹糸の織物の方が、木綿よりも燃えやすい。

今日までに各種の安全服装は、たくさんある。労働者が、永久に股、片輪、または盲目となることをふせぎ、またさらにたくさんさんの労働者が仕事の時間を失ふことや、苦痛や病氣のために時間を費すことをふせいできたのである。

疲勞と神經過敏は、よくあわなない靴のためであることが多い。もし足または脚部の筋肉に慢性的な疲勞や痛みを感じてゐる人があれば、工場専属の醫師または看護婦に、どんな種類の靴をはいたら適當か、忠告を求めるのがよい。

正しい靴は、靴底に足の踵を充分いれこむだけの長さの靴である。それは、爪先を自然にのびさせ、踵と足の甲にきつちり合う。靴のかゝりの高さは中

位または低い。足はかならず立つてゐる體の重みを測定器の上にのせて測らねばならない。幅も長さと同様に注意深く合わせねばならない。もし足に畸形のところがあつたならば、運動と技術的工夫で都合をつけるのがよい。



第1圖
靴型による正常な足と畸形になつた足の骨

ハイヒール又はすり減つたかゝとや、うすい、またはすり切れた靴底は、ころぶ直接の原因となる。かゝとが低くて底の良い、きつちり合つた靴は、ぬれたりすべつた床の上での歩行をつづけるのに役立つ。

産業界では、ころぶことが婦人の傷害の大きな原因となつてゐる。ことにそれは、年配の婦人の間では重大であ

つて、時間の大損失をまねく。ころぶ重なる原因に、ぬれた、すべりやすい床やその他、工場内整頓のゆきとどかぬことなどがある。

職業によつては安全靴をはく必要がある。これは普通、重い物質をおとす危険があるときに必要である。それは普通の靴と同じようにはき心地よく、見かけも魅力的にすることができ、補強した甲皮をもつたこの種の靴のおかげでこれまでに多くの足指がなくなることをふせいできたのである。全連邦に知られてゐる五、六の會社では、男女労働者兩方のために、あらゆる大きさのこの種の靴をそなへてゐる。



第2圖
ガラス製造における女工用防護靴。

第二圖は、光學用ガラス工場に働いてゐる少女たちのために、特に工夫された防護靴を示してゐる。クロム革でできていて、曲げたアルミニウムの小片を足の先にあわせるようになつてゐる。これは落ちてくるガラスやその他のおちてくる物質に對して、足の甲と先とを保護するものである。労働者が酸をあつかつたり、あるいはひどい熱や濕氣のあるところでは、木底の靴が工夫されてゐる。

爆發物を製造し、または取扱うところでは、労働者は、糸縫いの底か、木釘をうつた底で、かゝとに鋼釘をうつた靴をはかねばならない。

ちり除け眼鏡をかけること 眼はかけがいがいい

たとへ、眼からかけはなれたところ、に危険があるときでも、すべての仕事に、認可するの安全ちり除け眼鏡をかけなさい。災害による失明は一年に約五〇〇〇萬ドルの損害を産業界にかけて

いる。また失明する労働者本人には、その一番貴重な財産、すなわち視力の代價を支拂わせることになる。ニューヨークだけでも一年に約二〇〇〇名の労働者が、重い眼の障害になやみ、災害補償の恩恵をうけてゐる。

一番數多い原因としては飛び散る物質がある。その他の原因には器具または機械の部分品や、飛散する液體などがある。誰も、いつ、どうして眼の災害がおこるか豫言できるものはない。それ故豫防手段をとつておくべきである。

ちり除け眼鏡は、それだけでかけても、また常用の眼鏡の上にあわせても、輕くかけ心地よい枠でできてゐる。以前は、ひどい打撃に耐えられるようなガラスが生産されなかつたために、ちり除け眼鏡が粗末なものであつた。今ではガラスはどのような打撃にも、粉碎しないように鍛えられてゐる。ある會社では揭示板に、こわれたちり除け眼鏡と、それをこわした物質とが

掲載してある。その大部分は、作業が眼にとつて危険と思われぬような仕事にある男女から提出されたものである。大製造會社ですべての仕事にちり除眼鏡をかけさせている會社は、せいぜい一つしかないが、この會社への訪問者は作業場に入る前にちり除眼鏡をかけねばならない。この會社は、右の條件のおかげで二年間に一一六・〇〇〇ドルの得をしたし、なおもつと大事なことは、そのおかげで十年間に少くとも一〇〇の眼を救つた。

動いている機械のそばでは作業帽をかぶること

最近、婦人局からの質問にこたえて、大勢の婦人を使用している政府の砲兵工廠から、婦人の髪の毛は機械作

業に婦人を使用する際一番危険である、との聲明が發表された。動いている機械にあつては、電氣の引力が、機械の中にしばつてない毛髪を引きこむこと（ちようど、髪をブラツシでとかした後で、ブラツシが毛髪をひきつけるように）があり得る、そしてその結果は恐るべきものである。この理由でネットをかぶるか、毛髪を短く刈るかせねばならない。

多數の婦人を回轉する機械作業にやつてゐる一會社と、粉末の埃をたてる作業をする五、六の會社とが何年も實驗した結果、頭髮の保護には有効であり、同時に見かけが魅力ある制帽を決めた。

決めるにあつて、二つの問題がある。すなわち、ばらばらの毛髪を入れることと、回轉する機械が帽子をひきこみ、つぎに毛髪をひきこむことをふせぐこと。そこで、この帽子の特徴として決められたことは、その高さ（頂上は少女の頭髮に觸れないこと）と、

同さ（回轉する機械にひきこまれないこと）にある。帽子のサイズは小さくないから、萬一少女が機械の一端にふれても帽子は脱げてしまふだらう。ある少女の述べたところでは、制帽を數日間機械作業にかぶつてみて、自分が、どんなに機械に接近して働いていたかに、これまで全然気がつかないでいたことがわかつたさうである。帽子に機械がふれるたびに自分が機械に近づきすぎていることの警告となつたのである。

少女の頭髮が多すぎて、帽子がすっかり毛を掩ふことのできない場合は、頭髮全部を掩ふようなネットをかぶり、頭に毛髪をくつつけておくことが必要である。

右の會社では、經營者は機械作業に従事する少女らと、帽子のデザインや材料や、かぶり心地などの點を相談して、制帽の問題に對し最善の解決を得た。問題の要點が示されれば、このような制帽に關する意見は、労働者の側

から出すことができる。

連邦青年局は慎重に考慮した後、工場作業の少女傭員のために制帽を採用した。この制帽は眼をおおふためにひさしがあり、頭髮全部をつむむようにたつぷりしている。それは軽く、かぶり心地よく、洗濯がきく。

どんな種類であれ、埃のたつ作業では、そしてそれは相當多いのだが、目のつんだ織物の、洗濯しやすい生地、きつちり合つた帽子は爽快味と健康のために役立つ。



第3圖
有害な粉塵に對する
防護用頭巾。

第三圖の頭巾は、頭髮と頭皮とを、ある種の作業に用いる重曹から保護するために工夫されたものであるが、そ

れは白上布で三角形の布になつていて、廻り全部にふちがつてある。頭部を全部包み、前で結ぶようになつていて、これは完全な保護となる。

復活祭の行列のために選ばれた服が、たとえどんなに不適當であらうとも、しまいは仕事者となつてしまふといつた時代は過ぎてしまつた。きつちりと體にあわせた衣服は、疲労を増すところの緊張の原因となるし、また働いている機械のまわりでは、ゆるい、だぶだぶの服は重大な危害をまねく。

飛行機修理に従事する少女は、突き出た機械装置につきあたられぬように、自由に運動できるために、たつぷりした作業ズボンと、短いカフスのつかないブラウスまたは、袖の短く上張りを着るのがよい。

すべて動いている機械のそばで働く婦人には、同様の制服が必要である。作業ズボンとブラウスでもよし、上張でもよし、これまでにデザインされた各種の半ズボンと上衣のうちのどれで

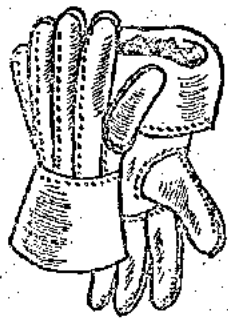
もよい。動いている機械をとりあつかひ又はそのそばで仕事につくために身仕度するときにおぼえておかねばならぬ大事なことは、動く機械にひつかい、るようなだぶだぶの袖も、たつぷりしたスカートも、紐も靴もよくないことだ。作業ズボンも、袖も共にカフスなしに作らねばならない。長い袖をまくりあげるのはカフスよりもつと避けねばならない。長袖のまくりあげたものが機械にひつかいと、引き裂かれる折に最も抵抗が強いので容易ならぬ腕の傷害をまねくことになる場合がある。ポケットのことも考えねばならぬ。外ポケットは一番安全な方法とは云いきれない。もし外ポケットが必要なら、平たく縫いつけたポケット、または平たい臀部のポケットがよい、と家庭經濟局は推薦している。

仕事場のまわりの集團作業やその他の特別の危険をとまなわぬ工場作業では、簡單な、きつちりと體にあう、短袖の服または作業ズボンとブラウスが

適當である。どんな仕事にあつても、活動の自由は氣樂さと能率とをもたらす。ブラウスの背にひだを入れることと、型よく裁つてある服は自由な動作に役立つ。

埃やその他の汚れの原因があるところでもまた、仕事のための特別の服装が必要である。絶縁線や電氣絶縁器の製造の際の、鹽素處理したナフタリン取扱作業をする男女の通勤用の服装の防護は、労働者の家族の幼い子供らや、その他の家族員に重い、皮膚の發疹症を起すことを防ぐために、必要缺くことのできぬものである。また濃くのりをつけた制服は毒の吸収を防いできた。毒をふくんだ埃の場合には、通勤時の服装のまわりに毒をつけてはこぶことにより毒にさらされる時間は二倍にされる。

物質によつては、皮膚との接觸の方が、呼吸または消化器による接觸よりもつと重大な中毒の原因となるものがある。故に通勤用の服装は決して右



第4圖 錫板検査に用いられる革手袋。

第四圖は、婦人が大勢はたらいいてるもう一つの作業——錫板の検査——において必要な手袋である。

手袋は、工業生産に用いられる、非常に多種の物質によりひきおこされる皮膚疾患に一番かゝりやすい。水分を吸収する繊維でつくつた手袋は有害な物質がすつかり浸みこむので、手袋なしよりもわるい。

合衆國公衆保健部は、そのような有害な物質に對し満足な保護法を見出すために、繊維の研究をしてきた。その結果、皮膚の刺戟物に對する一番適當な保護となるのは、ブリオファイルム、ヴィニライト、およびコロシールなど

のような物質で汚れておいてはならぬ。

冷い場所で働かねばならぬ婦人を居心地よくするために、暖い生地で、足首の廻りにきつちりよく合ひ、上衣には目の積んだ毛糸編みのスウェーターを着るスキー型のズボンが工夫されている。

手袋で皮膚の炎症その他の危害を防げる

作業用手袋は使うときに、作業にふさわしいものをえらばねばならない。それは防禦に役立つばかりでなく、はめ心地よく、持ちがよくなければならぬ。手袋は、工業の仕事に従事する婦人にとつては、飾りとしての附屬品以上のものである。指や手を保護すれば、婦人における災害数を減らすのに大いに効果がある。手や指は事實上、生活費稼ぎに關係あるあらゆる作業につかわれるものである。指におこつたわづかの災害でも、敏速な指と、小さな

な部分品の正確なとり扱いとを要する作業を全然出来なくさせてしまう。ある州の報告によれば、婦人の業務上の災害の約半数が、手と指に關係がある。そこで手袋は多くの場合に、適當な保護を與えることができる。

集團作業の中には、鋭いもの、あるいは、ざら／＼したものの取扱ひを必要とするものが多い。あまり高價でない、普通の、もちのよい手袋をつかうと、この種の仕事では、快さと安全とをあたえる。とりあつた部分品が小さいところでは、ゴムの指袋で充分である。よく指のまわりにはつて使うゴム糊つきテープは、指袋の代用としては思ひしくない。それをたえず使用していると、皮膚に有害であり、重大な疾患の原因とすらなる恐れがある。

とがつた微小物をとりあつた労働者は、微小な切れはしから指を守るために山羊の皮のような皮手袋をはめる。ゴム製指袋は小さな部分品を扱いやすくするためにはめられる。

そのような場合、又は物質が手首の中にすりこまれそうな場合に、とくに必要である。

作業に用いられる手袋は、快感という點から慎重に考えねばならない。革手袋は、とくに大きな荒い目と荒い縁がじやまになるから止めた方がよい。皮膚をたえず刺戟することは疾患のもととなるから。

手袋は、防護用服装の中では、どれよりもよく用いられるけれども、動いている機械のまわりでは、首飾りや指輪と同様に禁制品である。鑽孔機、壓穿器、旋盤、その他の機械を使用中に、手袋をはめていたために、重大な事故がおこつたことがある。油や油じみた物品を度々扱うので手袋をはめることは一つの誘惑である。が、そのような職務に對しては、これに代る防護物として市場に出ているクリムや塗布料などをつかうのがよい。それも、たゞ一つのクリムや塗布料では、すべての物質に對して適當な保護とはならぬ

い。それ故一番よい方法は、同一種類の刺激性物質に適する防護品種を用いることである。多くの場合、純粋ラノリン、又はラノリンを基本材料としたクリームが適當である。特別の保護が必要な場合の混合薬品の例としては、鹽素處理溶劑、ガソリン、化學合成品、テレピン、フルコール、テレピンと水素溶液の混合物などがある。このような混合薬品に關しては、工場專屬醫師からどのような防護薬を用いたらいかが助言をもとめるべきである。

防護用カバーのかわりに、クリーム又は塗布劑が用いられるときに、大いに考えねばならぬことは、適當な石けん洗劑で洗ひおとされねばならぬことである。

寶石類は工場には用はない

工場用衣服には、寶石は全然不適當である。役に立つ腕時計も、たわいもない耳輪、首飾、腕輪なども、それ自身

では魅力があるが、工場では用はない。ある會社では、見えるところにかざる寶石は、一切つけてはならぬという、明確な規定を設けている。

特殊な危険をとめなう作業には特殊な作業衣が要る

安全作業衣は、今では、どんな種類の仕事においても、殆どどんな危険に對しても、保護を與えている。その作業にふさわしく、特殊な服装をした労働者は安全感をもつてをり、事故をおこすことが、より少いようである。

左表は、上にあげたような危険にさらされる場合に必要で、特殊の、各自に向いた服装を示すものである。

左の危険があるときは、次のものを着用すること。(註一)

腐蝕性物質、フルカリ、酸など。
ゴム製上衣又はエプロン、木底のついたゴム製又はクロム皮革靴、腐蝕剤の場合には靴底は縫いつけたものであること。

ガラス纖維製の、または纖維金屬合成の、またはゴムの、腕と脚カバー。ゴム又はゴム引きの手袋、ゴムの帽子または頭巾。

切り裂き。

クロム皮革が上衣にも、エプロン、靴、腕と脚カバー、および手袋にも適當である。エプロンにも腕と脚カバーにも金屬が入用だろう。そして手袋はカニマス、布、又は金屬または綿布でできたものがよい。頭巾はジュラルミンまたは硫化纖維(ダアルカン・ファイバー)など、柔軟性ある材料でつくらねばならない。

皮膚炎症。

ゴムの服装。上衣又はエプロン、靴、腕覆い、手袋などが必要であらう。

落下物。

爪先きを補強した靴、纖維の金屬合成の腕と脚覆い、ジュラルミン、又は硫化纖維など柔軟性ある材料でできた頭巾。頭巾又は滑り。

滑らない靴底のついた靴。

部分品の飛散。

突き刺しや打撃の場合と同様。但し、

爪先きを補強した靴と、金屬又は綿布の手袋は不要。また場合によつては石綿の上衣、又はエプロンが皮革のものよりも望ましい。

熱した液體。

クロム革のエプロン又は上衣、側面を開き、そしてクロム革でできている靴、防火ブツクでつくつた脚と腕覆い、石綿又はクロム革手袋、ゴム帽子又は頭巾。

熱した物質。

石綿上衣又はエプロン、前に縫のない、木底の、クロム革靴、石綿の腕又は脚覆い。手袋、および帽子又は頭巾。

水 分。

ゴム上衣又はエプロン。クロム革又はゴム靴。クロム革又はゴムの腕、および脚覆い。ゴム又はゴム引き綿布の手袋、ゴムの帽子又は頭巾。

突き刺しや打撃。荒いもの、とがつたもの。

爪先きを補強したクロム革靴、クロム革又は針金屬の上衣又はエプロン、革又は纖維、金屬合成の脚と腕覆い、手袋はクロム革、金屬、又は綿布でつくつたものがよい。ジュラルミン又は硫化纖維等柔軟性ある材料の頭巾が必要。

發火爆發。

縫いつけた、又は木釘をうった底と、

鋼釘をうった底のついた靴。脚覆いは短ゲートル、脚絆、づぼん、膝當などを含む。

腕覆いは袖、および手首覆いを含む。手袋は、指無し手袋、手甲、指袋などをふくむ。

帽子は頭巾をもふくむ。

(本表掲載の材料は米國相互責任保險會社の表から摘用したものである)

(註一) ゴムが表に掲げられている個處は、さきに論じたような代用物を使用してよい。

(田中壽美子譯)